

第二節 魚雷發射標的ノ進歩變遷

第一項 明治三十七八年戰役前時代

魚雷發射用標的ハ魚雷發射規則制定後ハ概ネ當該規則(規程)ニ指示セラレアリ從ツテ發射規則ノ變遷(第三編第二章)ニ依リ其ノ一般ヲ窺知シ得ル理ナルモ其ノ細目、因由、利害便否等ヲ概説スルヲ本章ノ目的トス

三十七、八年戰役後戰後經營ノ一端トシテ明治四十一年魚雷發射規則ノ改定ヲ見檢定戰鬪發射等ヲ創始シ魚雷發射教育ノ基礎確立セラルルニ至ル迄ハ靜的トシテハ監的艇ヲ中央及要スレバ兩端ニモ配置セル簡單ナル索條標的ヲ動的トシテハ短艇標的ヲ專用シ標的施設トシテ見ルベキモノ全然存置セザリ

キ唯明治三十四年兒玉大監創意ノ衝突頭部採用以來特定ノ實艦的ヲ用ユルコトアルニ至リシモ極メテ
限定セル範圍ニ於テ使用セラレタルニ過ギズ

此間使用セル標的ノ二、三事例(規則)等別表第一ノ如シ